

ご自由にお取りください



独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO大阪病院

No. 62

2025

Open Com

オープン・コム

特集

腫瘍内科

～専門性の高いがん治療を提供します～



JCHO大阪病院 理念

あしたのしせい+

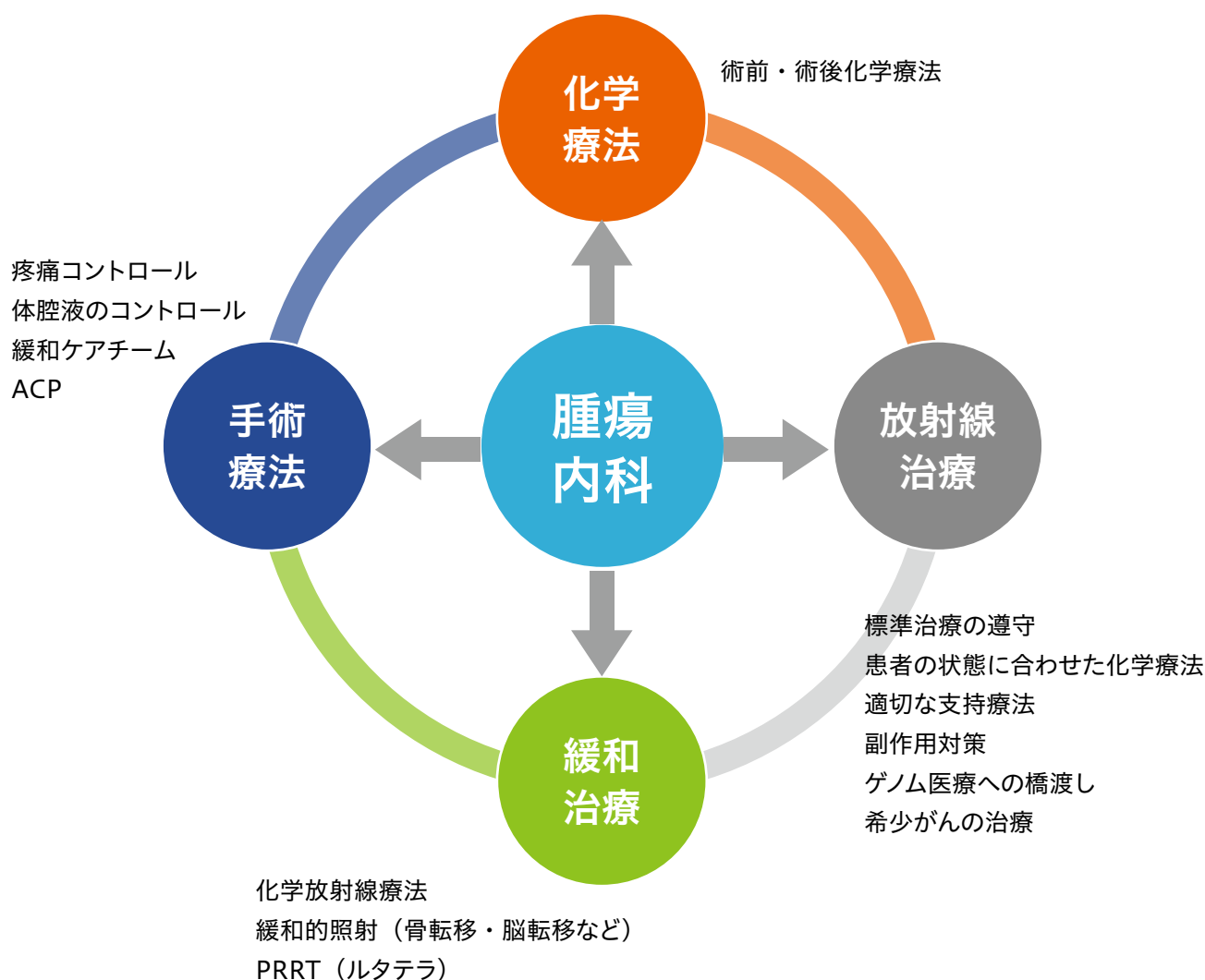
より最適な医療と温かいところで、「あなた」と「地域」を支えます

01 がん薬物療法の専門性を核に、患者さんに寄り添う医療を

当院腫瘍内科は、がん薬物療法に特化した診療科として、日本臨床腫瘍学会認定の「がん薬物療法専門医」が診療にあたり、質の高い個別化治療の提供を行っています。加えて現在、同学会による認定施設の申請を進めており、今後は当院で研修を受けた医師が薬物療法専門医を取得できる環境を整えることも視野に入れています。

他科の医師やスタッフと連携して、患者さん一人ひとりにとって最適な薬物療法と支援が提供できるよう、体制の充実と診療の質の向上に努めております。

図1 腫瘍内科の業務



02 薬物療法の特徴と治療方針

個別化治療とチーム医療で支えるがん薬物療法

当院腫瘍内科では、がん種や病期、患者さんの全身状態に応じて、最適な薬物療法を個別に計画しています。標準治療に加え、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）や分子標的薬などの新規治療にも積極的に対応しており、副作用のマネジメントはもちろん治療継続の支援にも力を入れています。

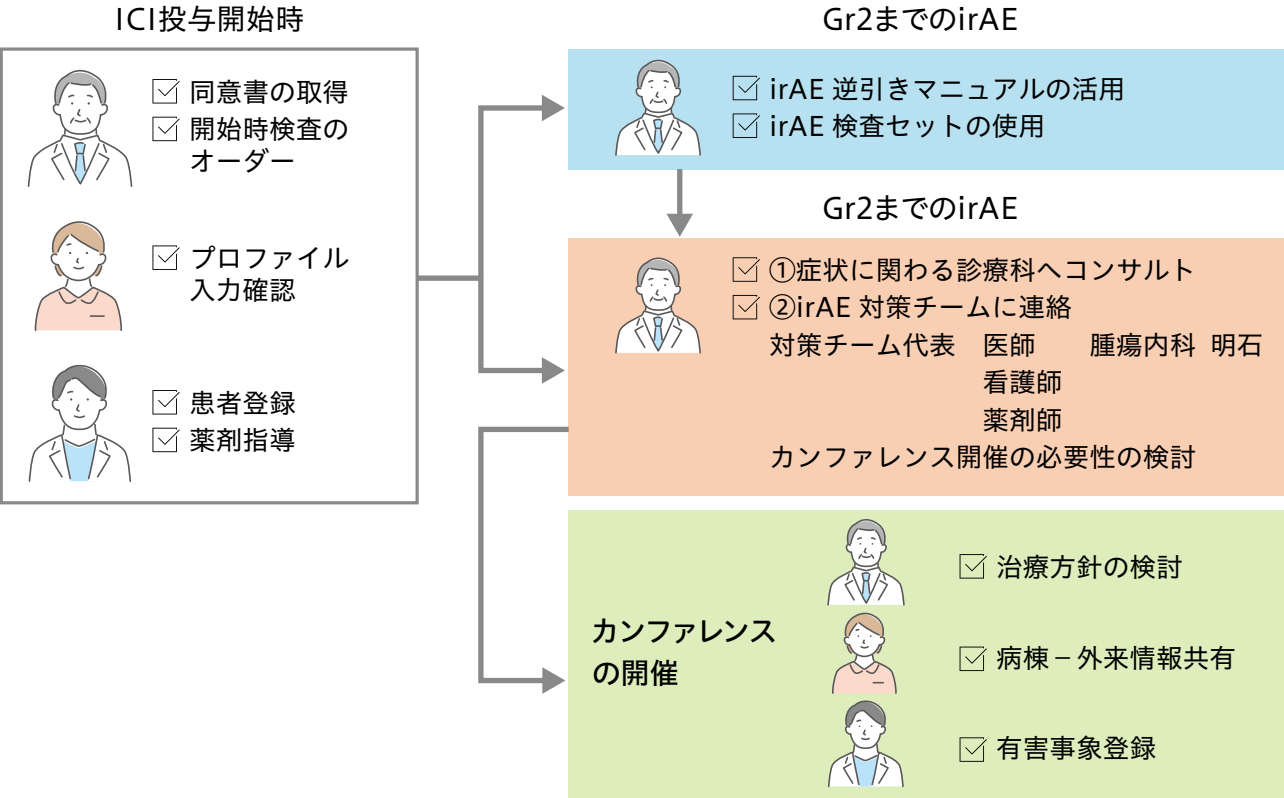
また、他科の医師・薬剤師・看護師・栄養士・臨床心理士・リハビリスタッフなど多職種との連携を通じて、治療中の生活の質（QOL）を保ちながら、患者さんが安心して治療を受けられる体制を整えています。治療方針の決定にあたっては、患者さんご本人やご家族との対話を重視し、納得のいく選択ができるよう支援しています。

03 irAE（免疫関連有害事象）への対応体制

近年、免疫チェックポイント阻害薬の普及に伴い、irAE（免疫関連有害事象）への対応が重要性を増しています。当院では、腫瘍内科を中心に、irAEに関わる各診療科（呼吸器内科・消化器内科・内分泌内科・皮膚科・神経内科・循環器内科・眼科・腎臓内科など）、薬剤師、看護師と連携したirAE対応チームを構築しています。

irAEが疑われる場合には、迅速な情報共有と診療科横断的な対応が可能な体制を整えており、ステロイド治療や専門科への紹介もスムーズに実施できるようにしております。今後、症例検討カンファレンスも計画しており、対応の質の向上にも努めていこうと考えております。

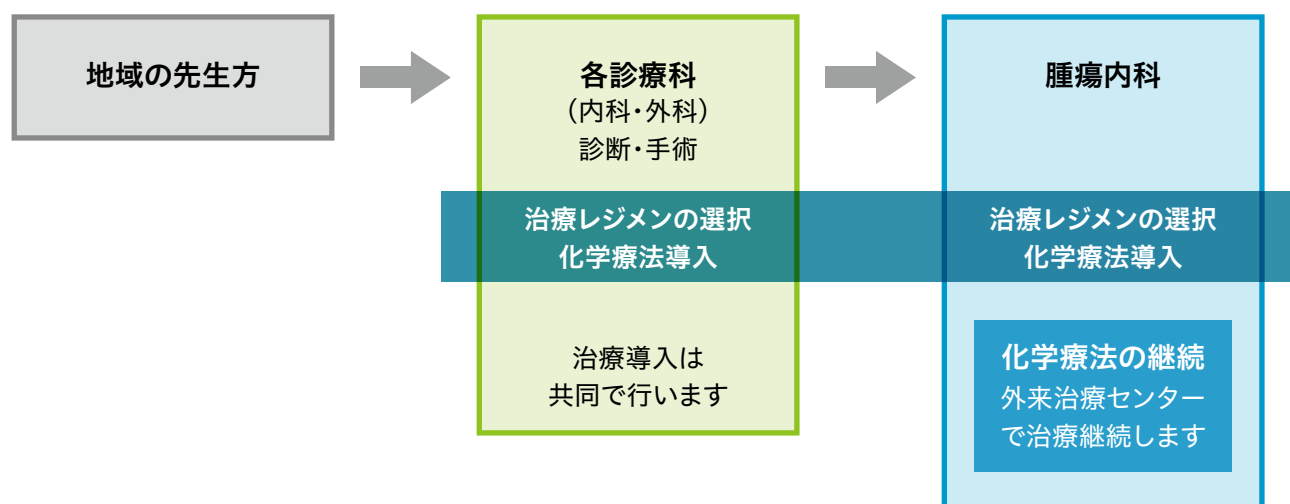
図2 irAE対策チーム



04 地域連携と今後の展望

当院腫瘍内科では、地域の医療機関との連携を重視しており、紹介・逆紹介の円滑化や診療情報の共有を通じて、患者さんにとって最適な医療が提供できるよう努めています。ただ、現在腫瘍内科は1名体制で診療を行っており、患者さんの初診は、まず内科・外科等の各診療科を経由してご紹介いただく体制となっています。その後、当該診療科と密に連携しながら、薬物療法の適応判断や副作用対応などを腫瘍内科が担っております。現在治療中の患者さんの治療方針の相談に関しては適宜対応させていただきます。何かとご不便をおかけしますが、今後は、腫瘍内科への直接紹介の受け入れ体制を整備し、より柔軟な診療体制を構築していく予定です。また、地域の先生方との勉強会や情報交換の機会を増やすことで、がん薬物療法に関する知識や経験を共有し、地域全体の医療の質向上に貢献していきたいと考えています。

図3 診療の流れ



診療体制 (2025年8月1日現在)

- ・ 明石 雄策 (診療部長)
 - 【専門】 固形がんの化学療法
 - 【資格】 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医
日本内科学会認定内科医
日本癌治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 黒崎 隆 (非常勤医師)
 - 【専門】 腫瘍内科領域全般



CARTO 3 Ver.8 導入で進化する不整脈治療

～より安全・高精度なアブレーションを患者さんへ～



©Johnson & Johnson K.K.2021

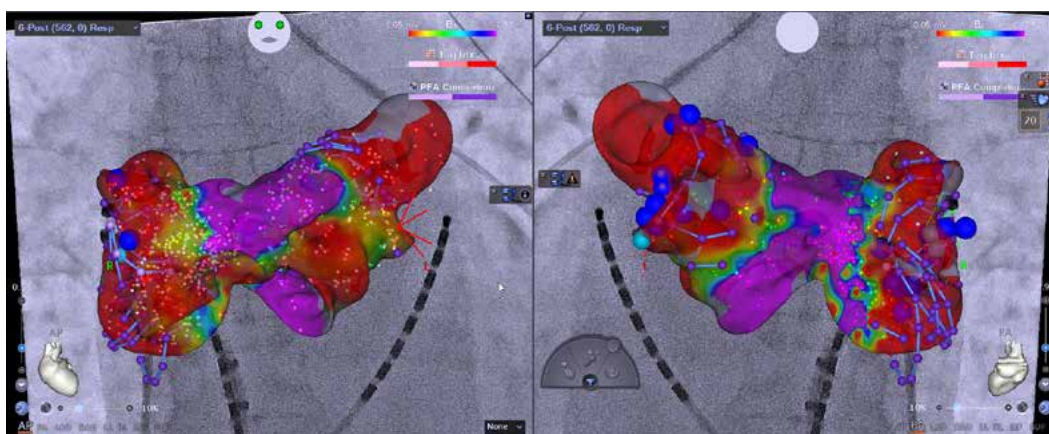
このたび当院では、最新の3D心臓電気マッピングシステム「CARTO 3 Ver.8」を導入し、不整脈に対するカテーテルアブレーション治療の精度・安全性がさらに向上しました。これにより、心房細動や心室性不整脈でお悩みの患者さんに、より負担の少ない治療をご提供できるようになります。

■ 痛みの少ない「ペインレスアブレーション」

当院では、全身麻酔下でのアブレーションを原則とし、患者さんの不安や苦痛を最小限に抑える「ペインレスアブレーション」を実施。累計750例を超える豊富な実績があり、安心して治療を受けていただけます。

■ CARTO 3 Ver.8 の主な特長

- CARTO UNIVUE: X線透視画像を統合表示し、透視時間の短縮と被ばく軽減を実現。
 - CARTOSOUND™強化: 超音波画像と融合した高精度な3D解剖図で、より正確な治療を可能に。
 - 多極カテーテル対応: 迅速な電気マッピングで、治療時間の短縮に貢献。
 - LAT Velocity Vectors (LVV): 心筋の異常伝導領域を可視化し、ターゲットを絞ったアブレーションが可能に。
- これらの新機能により、医師の判断を支援し、手技の効率化と治療効果の向上が期待されます。



■ 次世代の選択肢「パルスフィールドアブレーション(PFA)」

従来の高周波や冷凍ではなく、電気パルスにより心筋の異常部位を選択的に治療する新しいアブレーション法「PFA」も導入。食道や神経など周囲の臓器へのダメージが少なく、安全性が向上。治療時間が短く、入室から退室まで約90分で終了。CARTO 3との併用により、PFAの効果も最大限に引き出せます。

不整脈治療に新たな選択肢をお探しの際は、ぜひ当院循環器内科までご紹介ください。

2025年7月3日(木)

「七夕夏祭り音楽コンサート」開催報告

大阪病院の1階の総合案内付近で開催された『七夕夏祭り音楽コンサート』。今回のコンサートは大阪音楽大学の学生によるサックスのデュオでした。

選曲は「七夕」にちなみ、「星に願いを」、「天の川」にちなんだ「川の流れのように」など、会場にいる皆様誰もが口ずさめる楽曲でした。



演奏後は、西田院長より自らの入院経験を振り返り「病院はあまり楽しいところではないので、少しでも楽しんでもらえる時間があるようにと…」と、『七夕夏祭り音楽コンサート』の企画に至った想いを皆様に伝えました。



JCHO大阪病院博覧会

病院の“中”をのぞいてみよう！ 見て、触れて、体験しよう！

開催日：2025年10月4日(土)※雨天決行

開催時間：10時から15時まで

開催場所：JCHO大阪病院(外来ブース)

お問い合わせ

JCHO大阪病院 イベント研修委員会 TEL:06-6441-5451

詳細は今後HPにて公開予定です。お楽しみに！

2025年7月5日(土) 地域医療連絡会 開催報告

リーガロイヤルホテルにて、地域の医療機関の方々をお招きし、講演会および懇親会を開催しました。



循環器内科診療部長 小笠原延行より「心不全パンデミック時代への対応～地域医療でいかに患者さんを守るか～」、消化器外科診療部長 松田宙より「大腸がんに対するロボット手術の現状と展望」について講演を行いました。懇親会では、当院の各診療科医師と地域の医療機関の方々とが直接顔を合わせてお話をする貴重な機会となりました。



今回の連絡会は、過去最多の100名を超える地域の方々にご参加いただき、ありがとうございました。今後も、より多くの方々と顔合わせや、より良い連携のあり方について、地域との絆を深めて行けるよう取り組んでまいります。



ご寄附のお願い

当院では、患者さんに高度で安全な医療を提供するために、療養環境の定期的な改善や高額医療機器の更新整備を行っています。そのための資金援助として企業や個人の皆様より広く寄附金を受け付けています。

コロナ禍であった令和2年度から令和6年度までに多くの方からご寄附いただき、下記の医療機器の整備を行うことができました。ご寄附いただき誠にありがとうございます。引き続き、患者さんへ質の高い安全な医療の提供に尽力いたしますので、ご支援のほどお願いいたします。

ご寄附により整備した医療機器例



搬送用保育器

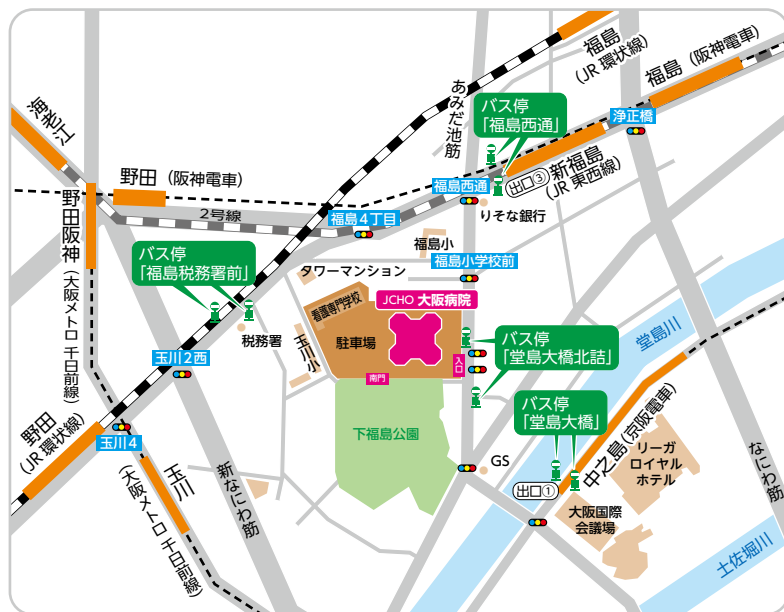


車いす



心臓血管外科鋼製小物（手術器具）

アクセス



■ JR 東西線

「新福島駅」下車徒歩 5 分

出口 1 にはエレベーター、出口 2 にはエスカレーターがございます
※当院に一番近い出口 3 には階段しかございません

■ 京阪電車

「中之島駅」下車徒歩 5 分

■ JR 環状線

「福島駅」下車徒歩 10 分

■ 阪神電車

「福島駅」下車徒歩 10 分、「野田駅」徒歩 15 分

■ 地下鉄

「千日前線玉川駅」下車徒歩 10 分

■ 市バス

「大阪駅前」鶴町四丁目 [55] 方面 「堂島大橋北詰」下車 すぐ
「大阪駅前」西島車庫前 [56] 方面 「福島西通」下車 徒歩 5 分
「大阪駅前」西島車庫前 [56] 方面 「大阪福島税務署」下車 徒歩 5 分
「大阪駅前」船津橋 [53] 方面 「堂島大橋」下車 徒歩 5 分

■ タクシー

「大阪駅」より約 10 分



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院 / 大阪府がん診療拠点病院

JCHO (ジェイコー) 大阪病院 信頼に応える医療

独立行政法人地域医療機能推進機構

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4-2-78

TEL(06)6441-5451(代表) FAX(06)6445-8900

<https://osaka.jcho.go.jp/> この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報委員会宛まで

JCHO 大阪病院

検索

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院（第1号）／につけい子育て支援大賞受賞／女性のチャレンジ支援賞（内閣府）受賞

JCHO大阪病院SNSはこちら



LINE



Facebook



Instagram



広報誌バックナンバー



古くより四つ葉のクローバーは「見つけた人には幸運が訪れる」という言い伝えがあります。当院は患者さんや地域の皆様が幸せになるお手伝いのできるよう四つ葉のクローバーの形を建物のモチーフにしております。